

企業との共創

阪田 留菜（慶應義塾大学総合政策学部）

もっとこうしたらいいのにな～～～



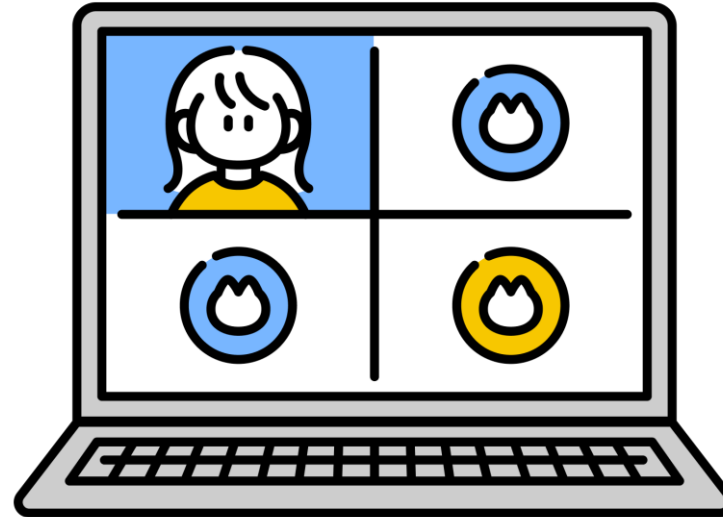
提案先企業（敬称略・五十音順）

- イオンモール株式会社
- 東急電鉄株式会社
- 日本放送協会
- 日本郵政株式会社 など

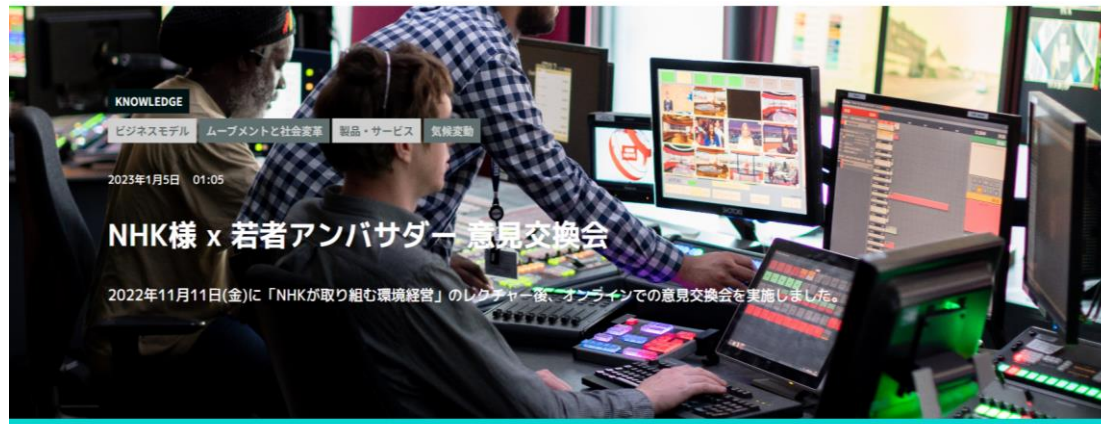


ミーティングで提案・相談

(東急電鉄株式会社様など)



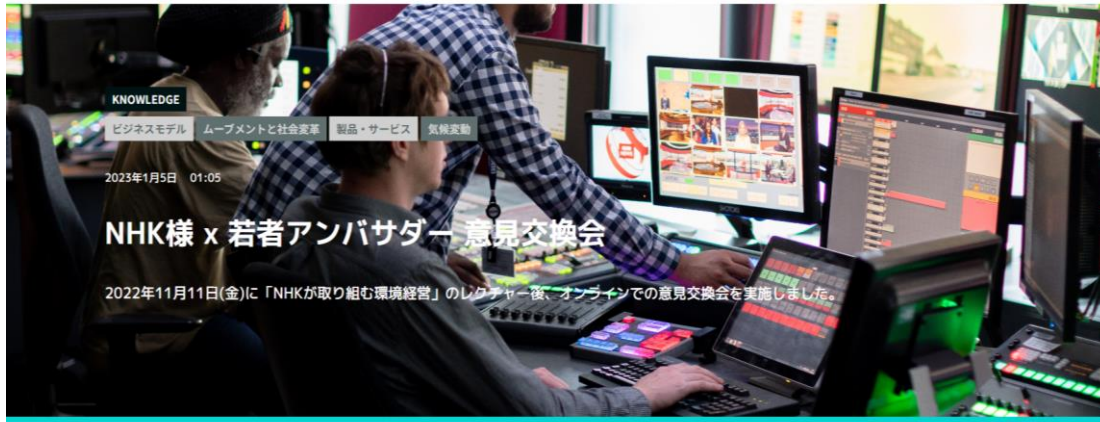
レクチャー・アンバサダーとの意見交換会につながる。 (イオンモール株式会社様・日本放送協会様)



マスメディア、その中でも公共放送として取り組む環境経営とは？NHKの「環境経営事務局」メンバーから直接その活動について話を聞く機会を

▲ Do! Nuts Tokyo ホームページにて

レクチャー・アンバサダーとの意見交換会につながる。 (イオンモール株式会社様・日本放送協会様)



マスメディア、その中でも公共放送として取り組む環境経営とは？NHKの「環境経営事務局」メンバーから直接その活動について話を聞く機会を

▲ Do! Nuts Tokyo ホームページにて

アルバイトや仕事を選ぶ際の選択肢に、
環境へ前向きな取り組みをしている等が
選択する基準になっていることが分かった

会社全体で一丸となって環境経営に
取り組む必要があると気付いた

若者アンバサダーのメンバーのように意識が高いZ世代はまだ
少数派であるという事を彼ら自身から聞いた事は率直な意見
交換である事を感じられて良かった

- 企業の方と話すとき脱炭素の取り組みの難しさを感じる。
- アンバサダーと話していると面白いアイデアが出てくる。
- 実際のアクションにつなげることが難しい。



提案で終わらず、実際に社会的インパクトを持つ企画を行いたい。



アンバサダーが提案・行動しやすい
仕組みが必要。

